



INDONESIA MISSION



発行：日本福音教会(JEC) インドネシアミッション

〒662-0896 西宮市上ヶ原六番町2-42 西宮福音教会内 TEL：0798-51-5100

郵便口座：00970-3-313875 「インドネシアミッション」



インドネシア・カリマンタン宣教のためにお祈りとご支援をありがとうございます。

上の写真はスルートウンバワン村、GPIB教会のCSの子供達が、3月にピクニックに行った時のもので、山岳地帯の真ん中を流れるスカヤン川の中州で礼拝しています。グロリア寮Ⅱ舎監のフィカルは、最近このGPIB教会のCSを助けているのですが、子供たちが教会のルーティンの活動に退屈しないように、そしてGPIB教会の建物だけが礼拝の場所ではなく、また教会の建物の中だけが神様の声や説教を聞く場所ではないということをお子に教えたかったそうです。

昨年から続くコロナ禍の様々な制限でストレスも溜まり内向きになりがち私達ですが、この子供達のほほえましい様子(赤道直下の日差しで暑そうではありますが)に、心が広げられるようです。これから益々“枠を越えて”、宣教の働きが前進していきますように。

インドネシアミッション代表 高橋 めぐみ



関西聖書学院(KBI)にて

スルートウンバワン村 CS情報 インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

「コロナ禍でのスルートウンバワン村」

コロナ禍でのスルートウンバワン村は、マレーシアとの国境が未だ閉鎖されたままなので胡椒が売れず経済的には大変ですが、村人たちの日常は普段と変わらず、マスクを着けずに過ごしています。マスクはエンティコンの町に下る時につけるそうです。

子どもたちの学校は未だ週一回登校して宿題を受け取り、また提出するという形で続いています。グロリア寮生の多くは、登校日の前後は寮に泊まり、一緒に礼拝や聖書の学びをしますが、それ以外は自分の家に戻る生活をしています。



子どもたちのおいのり

このようなコロナ禍の状況で寮生たちの学力の遅れや霊的なケアの時間が減った事が課題ですが、しかしマイナス面だけでなくプラスの事もありました。それはグロリア寮Ⅱがあるスルートウンバワン村(村はさらに2つの区、スルートウンバワン区とクバックラヤ区に分かれます)の2か所のGPIB教会との関係が強まり、子供たちへの奉仕の機会が増えたことです。特に昨年からは舎監として奉仕してくれているフィカルはメビックで奉仕した経験もあり、クリエイティブに子どもたちを導いてスルートウンバワン村の教会学校に刷新の風が吹いています。



エンティコン 卒業生の証し ドミアヌス兄

シャローム、こんにちは、イエス様の愛と平安がありますようご挨拶いたします。
まず初めに、私が今この教会に派遣され奉仕できているのは、アンテオケ宣教会を通して日本のすばらしい支援者の方々のお陰であると、主イエス・キリスト様に感謝しています。

私は、3年間の任務で、ニューギニア島パプア州のGMII マナレポ・ソロン教会に派遣されました。私はここで牧師のアシスタントとして諸奉仕を任されています。すべての教会の活動はスムーズに進んでいます。毎週土曜日は午後3時ごろまで断食祈禱会も持っています。私が任されているのは、日曜礼拝、日曜学校、ユース集会、水曜学校(CS)、木曜学校(CS)、での奉仕です。その他、礼拝用の賛美を準備したり、毎週の週報も作成しています。

コロナ禍で、諸集会を開くことができず困難な時を過ごしましたが、最近、次の諸集会を再開することができ感謝です。家庭集会(火曜)、水曜と木曜のCS、子供礼拝(金曜)、断食祈禱(土曜)、ユース集会(土曜)そして婦人集会(金曜日)です。

ここパプア州ソロンの文化は多様性に富んでいます。それは、原住民のパプア人だけでなく、インドネシアの全土からの部族—ダヤク族、バタク族、アンボン続、ジャワ族、テルナテ族とトラジャ族—が集まっているからです。私はここパプアの文化にも慣れてきており、食べ物も問題ありません。ただ、ここは物価は非常に高く、私は牧師館の裏に野菜やパパイアなどを植えて生活の足しにしています。なかなか太る事ができませんが、健康が守られて感謝です。皆様の上に祝福がありますように。感謝と共に。(ドミアヌスはエンティコングロリア寮から献身し、ATI神学校へ。日本からの奨学生の一。去年6月に卒業し、3年間のお礼奉公で今はニューギニア島パプア州で奉仕しています)

カリマンタン島西部地図



ドミアヌス兄とパプアの子供たち

ブンカヤン・ベラカ寮 ロレン兄

シャローム！私はレノシウス・ロレンと申します。2004年5月13日にエンティコン区、スルートウンバワン村のパダット・ラマの農家に生まれました。

中学生の時、私はスルートウンバワンのグロリア寮Ⅱに住んで、エンティコン国立第2中学校に通いました。初めて寮に来た時は、私はまったく主イエス様のことを知りませんでした。寮生活の中で私は神様を知る方法を教えられ、導かれ、整えられました。学ぶことがたくさんありました。

中学2年生の時に、私は学費がなかったので学校を中退しかけました。私は絶望して只静かに部屋にいるしかありませんでした。すると、舎監の一人であるナンドさんが私を見つけ、どんな問題を抱えているのかと聞きました。それで私はナンドさんに私の問題を話しました。彼はカウンセリングをしてくださり、私が学校を続けて教育を受けることが出来るように祈ってくれました。話をしたナンドさんが祈って下さって聞かなく、ヘルマヌス先生が自分の仕事を手伝わまいかと聞いてきました。そして私は先生の仕事を手伝う度に、アルバイト料をいただき、中学校を卒業まで続けることが出来ました。神様が祈りに答えて下さり、とても嬉しかったです。

中学校を卒業後、私は高校への進学に再び悩むことになりました。私の両親の経済では高校への進学は不可能でしたので、私は神様に、進学出来るよう、道を開いてくださるよう祈りました。困難な状況でしたが、私はここまで私の人生を導いてくださった神様に感謝しました。私は一生懸命祈り、神様は再び祈りに答えてくださいました。最終的に、私の教育のために支援を受ける事ができ、ヘルマヌス先生の勤



ベラカ寮とロレン兄

めでブンカヤン国立第2高校へ進学することができました。これらすべては、私の人生にある神様の憐みのゆえだと信じています。このような機会を与えて下さった日本の支援者のみなさんに、感謝を伝えたいです。皆さんとめぐみ先生がいつも健康で、主イエスキリスト様にあって幸せであるように、いつも祈ります。

どうかベラカ寮で私の存在が祝福となるように、寮での指導によって良い子どもになるように、お祈りください。今、コロナのパンデミックで、私はベラカ寮で自習するしかできません、対面での授業はまだ許されておらず、学校へ行くのは宿題を先生に提出しに行くときだけです。コロナのパンデミックが早く終息し、また普通に学べるようになって欲しいです。以上、これが私の証です。日本の支援者の皆さんにお証しできたことを感謝します。いつか皆さんとお会いできたら、と願っています。主イエス様の祝福がありますように！！！！！！

ミッションハウス建築

インドネシアミッション代表 高橋めぐみ

「ミッションハウス建設」

タヨンナ夫妻はATI神学生で、奥さんのナナさんは日本からの奨学生でした。卒業後は共にATI神学校で働き、そして、タヨンナ夫妻は昨年1月から未伝部族●部族伝道に専念するために故郷の西カリマンタン州S県に移動しました。以下タヨンナ氏の証しの抜粋です。

『神様は●部族の中に入って行き、福音を伝えるために私達を召されました。そして感謝な事に、今日まで彼らの中にイエスキリストを主と信じ自分を捧げた人達があります。しかし新たな問題も起こってきました。それは、信じた人達は家族から追い出されて、仕事もなくなり、教会も保護する場所を提供できない(この部族の強硬派からの圧力を恐れるため)という現実です。救われた彼らを生活面とそして霊的に助けなければなりません。そのような中で、私は神様からミッションハウスを建てるようにという大きなビジョンを受け取りました。そして親からの遺産の土地(50m x 50m)も与えられました。』

このミッションハウス建設は昨年10月末に定礎式を持ってから、今まで信仰によって進んでいます。多くの祈りと献げものがあり、3月末に屋根までできました。これから次のステップ、壁、床、窓、扉、電気、水回りなどに進んでいきます。主が進めてくださるよう、またこのミッションハウスが豊かに用いられるようお祈りください。



前回号からここまで進みました！

ミッションハウスを建てる目的

- 部族のために祈る、祈りの家として
- 部族伝道に重荷を持つ者の弟子訓練の場所として
- イエス様を救い主として信じた●部族の人達を受け入れる場所として
- 信じた●部族の人々の、霊的、実地的な学びと訓練の場所として

「カリマンタンへの導き」

ちょうど50年前、当時浦和の教会の牧師をしていた1971年の牧師研修会で西カリマンタンの奥地で集団改宗と村々のキリスト教化の証を聞きました。その証の中での言葉、「何百何千人という村人が入信している、しかし、一年に一度か二度しか牧師のメッセージを聞けない。宣教師が必要」が心に深く刺さりました。

当時教会で、一週間に5-6回説教をしていた私は、本当にそんな所があるのなら、自分のような若い者が行くべきではないのか、という思いが心に迫りました。研修会の帰途、ケズニックコンベンションに出席し、そこで、み言葉を通して、主が語りかけるように不思議に心にカリマンタンへの導きを確信しました。その一つのみ言葉は、黙示録3章8節でした。その後家内にも、無牧の教会の大変さの経験を通して、宣教師への導きを主からのものと思うようになりました。教会の役員方の理解が進み、教会を挙げて派遣して下さることになりました。「先生にはお葬式をしてもらえんと思ってたのに残念です。」という老姉妹の言葉が心に残りました。半年後、牧会を辞し浦和から宣教師訓練センターのあった高槻市に移り、デピューテーションを始めました。約一年間全国をまわり、200回程の集会(礼拝や諸集会)でカリマンタンへの宣教の証をさせていただきました。諸師、諸教会にお願いし証の機会を頂く経験は、何にも勝る謙遜と信仰の訓練、祝福です。宣教師にとっての必須の訓練、形成です。

1972年、家内と、3歳と9ヶ月の娘とともに伊丹空港を立ち、協力団体であるYPP(インドネシア伝道協力会)本部のある、東部ジャワ州、バツ市に向かいました。そこで一年間、インドネシア語と文化を学ぶためです。しかし、当時、リバイバルの実としての沢山の献身者が、神学校で学んでおり、大変な教師不足です。本部にあるバツ神学校で、半年間のインドネシア語の学びのあとに、神学校の授業を一つ担当させられました。その半年後には、4科目です。苦勞しましたが、後の働きのために大きな意味と益がありました。しかし、この状況が、カリマンタンへの障害となりました。校長から、「パ、(Mr.)安海、カリマンタンより

バツ神学校で教えてくれ」と強く要請されたのです。何百人の神学生に数人の神学部門教師という窮状を見て心うごかされない訳にはいきません。

しかも、大胆な気質のバタック人のこの校長は言うのです「日本人が、カリマンタンに入っても大海に一石のごとし、ここで教えた有能な神学生が、卒業後行った方がより効果的！安海は、ここで教えよ」というのです。正論です。まず、一度カリマンタンを見たいと卒業生の一人と、一ヶ月調査旅行に行く機会をもらいました。奥地の村々、信者の状況を実際に見ることができたのです。神学校の卒業生は、奥地に一人も奉仕していませんでした。机上の正論より現実です。バツの神学校では、その後一年だけ延長して教え、

—これも後の働き、ATI神学校開設のために大切な意味が有ったのですが—

こうして、1974年、目的の西カリマンタンに、バツで与えられた9ヶ月の長男が加えられて、一家5人と、神学校で一年だけ学んだ姉妹とで向かいました。涼しいバツから赤道直下の西カリマンタンです。そこは、正に主が門を開いて下さっているところでした。

(続く)



ワークキャンプから三年半

川上麻奈

Apa kabar? 皆さん、なかなか集会やキャンプ、個人的に交わりを持つのも難しい時期が続いていますがお元気にされているでしょうか。以前ワークキャンプというミッショントリップがあったのをご存知でしょうか？ワークキャンプは当時建設中だったグロリア寮Ⅰに行き、寮建設に関わる目的で行なわれ、有志で訪れました。その一つに寮までの道が雨季の雨で流されてしまわないように、根を張りやすいプチュクメラという木を植栽するというミッションがありました。乾季の暑い中、舎監や寮の子ども達と共に汗を流しながらジェスチャーでコミュニケーションを取りながら植樹したのは、忘れられない思い出となっています。植樹した際には30cmにも満たない苗木でしたが、現在では2m以上にもなる大木にまで成長しました。そして実際に子ども達が通学で通る道が土砂で浸蝕されることの防止に繋がっています。あれから三年半が経過しましたが、植栽している時にはここまで大きくなるものだと思って



いなかったもので、こうして月日を経て大きな結びとなっていることをとても感謝しています。

あの時、一緒に植樹した子どもたちは寮を築立っていきましたが、新しく入寮し御言葉によって成長していく子ども達の学びの道を守っていること

に、主の計画の大きさを、国を越えて改めて感じる機会となりました。今はお互いに直接訪問して交わることができませんが、いつの日か主がまた共に礼拝する時を与えて下さると願っています。そして新たに大きな計画が進んでいくのだと信じ、待ち望みたいと思います。

※3月にこの通路で土砂崩れが起きました。お祈りください。



祈りのリクエスト

ATI神学校

- ◎コロナ禍の中での神学生の訓練と学びのために。スタッフの祝福のために。
- ◎ATIスタッフ、学生によるデポジション動画を毎日YouTube配信しています。動画が用いられるように。
- 3つの学生寮共通**
- ◎コロナ禍の状況で3つの寮の舎監達に知恵が与えられるように。寮生たちの霊的指導のために。子供達は交替制で通学し始めています。

エンティコン・グロリア寮I

- ◎緊急！3月末に、大雨により公道から寮へ向かう通路（私道、約100m）半ばで地崩れが起きました。専門家からアドバイスを得た結果、まず水路増設と草の植栽だそうです。早急に対処していただけるように。
- ◎女子寮横の貯水槽の上に女子用台所が新設され、また寮正面に雨どいが設置されました。感謝
- ◎出産間近（第二子）の舎監デルフィのために。

スルートゥンパワン・グロリア寮II

- ◎寮の前の州道整備のため、寮は将来移転しなければなりません。移転先を探していますが、山岳地帯のためなかなか適した土地が見つかりません。神様が移転に知恵と導きを与えてくださるよう。

ブンカヤン・ベラカ寮

- ◎ベラカ寮の補修工事（屋根、梁など経年劣化部分）のために。
- ◎舎監のジュマディに第一子（男の子）ジェイソンくんが与えられました。守りと祝福のために。

奨学生

- ◎奨学生のエモンとスイン（グロリア寮2出身）が大学を卒業しました。これからの導きのために。

プニティ・アナスタシス教会

- ◎華人中高生たちの家族が救われるように。

沿岸部族の働き

- ◎●族のミッションハウス建設が進んでいます。完成に至るよう。
- ◎●族の人達との月一回の聖書学び会がスタートしました。集う人達の霊的成長のために。
- ◎伝道者ハリジョ家族、タヨンナ家族の必要がいつも満たされるように。

その他

- ◎カリマンタンへの宣教師（長期、短期）が起こされるように。

胡椒奨学金プロジェクト

富浦信幸

数年前母教会の礼拝に高橋めぐみ先生が来てくださった時のことです。お土産に白胡椒の小袋を頂きました。その数日後、母教会で地域の方を招いてのBBQ大会があり、その時に初めてお肉に白胡椒を使ったのですが、その香りの良さに感動したのを覚えています。来てくださった方々にも美味しいと大好評でした。以来、白胡椒は、BBQの必需品となっています。牛、豚、鳥どのお肉にも合います。最近では、イノシシの肉を焼くこともあります。もちろん白胡椒です。ジビエの独特の味にも白胡椒はよく合います。また、我が家でも料理に使う胡椒は、カリマンタンの白胡椒が定番になりました。

以下、妻の談

「白胡椒を使わない日はありません。白胡椒は、和洋中どんな料理にも使えます。みそ汁にも合います。その香りは食欲をそそります。黒胡椒ほど主張しないので、料理の味を引き立ててくれるのでとても便利です」

何よりの喜びは、白胡椒を使うことで寮の子どもの奨学金の助けになっているということです。現在3名の子どもをサポートしています。しかしサポートを必要としている学生は他にもたくさんいます。願わくは、今後5名、10名と拡大されていくことを期待しています。彼らは、将来のインドネシア宣教の担い手です。胡椒プロジェクトは、インドネシア宣教の将来への投資とも言えます。

引き続き、胡椒プロジェクトにご協力くだされば感謝です。ストックは十分にあります。まだカリマンタンの白胡椒を使ったことがない方、是非お勧めします。プレゼントにも喜ばれます。皆さん、一緒にインドネシア宣教を支えていきましょう！

胡椒奨学金プロジェクトに関するお問い合わせは以下にご連絡ください。

八尾福音教会 曙チャペル 伊藤勝利
（インドネシアミッション胡椒プロジェクト担当）
住所：〒581-0026 大阪府八尾市曙町2-1-7
アドレス：akebono@jec-net.org

※子ども達への奨学金の献金一口1000円～返礼品として西カリマンタンの白胡椒50gをお渡しいたします。

広大な胡椒畑



胡椒

お肉にもピッタリ



胡椒の実を選別
曙チャペルの皆さんに感謝！



我が家の白胡椒



胡椒の実



「インドネシアミッション」会計報告

(2020年11月1日～2021年2月28日)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
一般献金	1,726,820	活動費・ATI神学生他援助	1,000,000
ATI神学生奨学金指定献金	183,000	ベラカ寮改修費用	1,500,000
プニティ・エンティコン指定献金	40,000	●族ミッションハウス建設援助	593,000
大学生奨学金指定	4,000	個人指定	96,000
個人指定	84,000	ニュースレター印刷代・発送費	45,980
●族ミッションハウス建設献金	593,000	事務・雑費等諸経費	401,564
収入合計	2,630,820	支出合計	3,636,544
10月末残高	4,378,817	繰越金	3,373,093
合計	7,009,637	合計	7,009,637

毎月の現地支援金額内訳(2020年11月～21年2月の月平均額)



支援先	金額(円)
エンティコン・グロリア寮 I	38,215
スルートウンバワン・グロリア寮 II	50,643
ブンカヤン・ベラカ寮	54,359
ATI神学校	35,141
中高校生支援	78,108
大学生支援	79,046
●族★族支援	43,870
プニティ・アナスタシス教会	8,398
アンテオケ館維持費	3,820
特別献金	203,263
(ミッションハウス費用、 グロリア寮 I 雨樋・台所工事)	
通信費・銀行手数料	1,491
合計	667,699

※前々号より、クリスチャンパートナーズ、胡椒プロジェクトよりの奨学金、一教会または一個人から個人指定されている奨学金、支援金も含めてご報告しています。

【献金者芳名リスト】

教会・団体(順不同)

日本イエス北大阪教会 守山キリスト福音教会 神楽町教会 東京若枝教会 大和カルバリーチャペル 浦和福音教会
名古屋グローリアスチャペル ヒルズチャーチ 岬福音教会 泉南福音教会 堺福音教会 三国クリスチャンチャペル
東京チャペル 信濃チャペル シャローム希望教会 南大阪福音教会 山の辺キリスト教会 香芝ゴスペルチャーチ
狭山福音教会 八尾福音教会 千代田福音教会 国分福音教会 西宮福音教会 さんだグレイスチャペル 川西福音教会
大阪グレイスキリスト教会 ゴスペルライフ 明石福音教会 上郡福音教会 グレイス神戸ミッションチャーチ 一宮チャペル
京都クリスチャンフェロシシップセンター 東京グレイス福音教会 東京グレイスプレイズチャーチ

個人

坂田 宏・紀志子 原 武士 岡本哲二 山田昌代 山崎利見
本田寿久・洋子 中高貴代美 矢野幸治・寛子 前田栄治 申月 霞
三方美智子 小林宮子 築地和子 塚原利喜男・真理 王 麗媛
桜井和子 森 和亮 平野孝明・あおい 山口勝子 小林優・めぐみ・新
長尾浩明・優子 上坂 進 岩下喜子 篠田圭子 渡邊史朗・尚江
伊地知美津子 ガナルソ・和子ブディマン

編集後記

グロリア寮 I のワークキャンプに参加した者として、今回の証しを懐かしく読み返していたところ、大雨のために、まさにこの進入路の一角が土砂崩れを起こした、との知らせが入りました。本格的な対応が必要になりそうです。お祈りください。

インドネシアミッション委員 檜垣正裕